

令和2年度株式会社五霞まちづくり交流センター (道の駅「ごか」)の経営状況



令和2年4月1日から令和3年3月31日までの1年間の経営状況が公表されましたので、お知らせします。

道の駅「ごか」の利用者数(レジ通過者)は、約60万人で農産物直売所を含む総売上高は約7億8,870万円、交流センターとしての経常利益は約マインナス1,182万円になりました。新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の発令や、茨城県からのGW期間の休業要請等で観光目的の来客が激減したことが大きな打撃になりました。

地域食材供給施設

○農産物直売所「わだいわ菜」

茨城むつみ農業協同組合に経営を委託している農産物直売所は、毎日新鮮な地元産の野菜や米をはじめとして、果物・花卉・加工品等を取り扱っています。また、茨城県銘柄豚「ローズポーク」販売も行っており、多くのみなさんに利用され、道の駅「ごか」の活気をより引き立てています。

○レストラン「華ごぶし」

コロナウイルス感染拡大に

より団体客の利用は無くなりましたが、家族連れやドライブの来店が多く、様々な地域食材を使用した食事を提供しています。「ローズポーク」を使用したメニューや石臼挽き自家製粉の手打ちそば(五霞町産常陸秋そば使用)が好評です。

○軽食コーナー

名物のローズポークまんや、町特産八つ頭を使用した五霞いもコロッケ、五霞町産食材を使用したジェラートが人気となっております。また、手作りかき揚げの天ぷらそば・うどんやご飯もののネギ丼、お土産品はラスクがとても人気です。



○外フードコーナー

五霞町産米粉を使ったごかりん焼き(人形焼)はもちろんのこと、注文を受けてから作る出来立て持ち帰り弁当や本格石釜ピザも好評です。



情報施設・交流広場・その他

○情報施設

無料公衆無線LAN(Wi-Fiスポット)が設置され、スマートフォンやタブレット端末等で手軽に無線の高速インターネットが利用可能です。

また、ETC2.0の賢い料金の社会実験が実施され、一時退出時間が1時間から3時間に延長されました。

イベントコーナー・広場では、感染予防を徹底しながら、茨城のお魚市や手焼きせんべいの実演販売、フリーマーケット・スプレーアートなどの多彩なイベントが開催され、徐々に賑わいを取り戻しています。